

# 春まき 飼料用根菜

## 夏バテを防ぎ・乳量を高めます

根菜は収量が多く、多汁で、糖分も多く、家畜はひじょうに好んで喰い、健康を保持し、乳量を高めてくれます。

### 家畜ビート

早春（3月）まき、多肥栽培により6～8月頃に、根部7～10トンの多収が得られます。

ハーフエロー（橙色） 比較的やせ地でも多収な品種。

M・G・M（桃色） 耐病性、砂糖ビートとの交配種で糖分多い品種。

### 家畜ビート多収栽培のコツ

- 耕起前に完熟堆肥と石灰を施用
- 施肥量は窒素10<sup>g</sup>、リン酸15<sup>g</sup>、加里5<sup>g</sup>（成分量）
- 播種量は10<sup>㎡</sup>当り1.0<sup>kg</sup>
- 畦幅60<sup>cm</sup>×株間25<sup>cm</sup>1本立
- 間引きは本葉2～3枚のとき
- 中耕除草2～3回
- 播種2ヵ月ころから病害（褐斑病）防除にクブラピットを2～3回



### 家畜かぶ

早春まき、2ヵ月半で5トンの収穫ができます。どこにも作れて、短期間に収量のがる根菜を見なおしてください。

雪印改良紫丸かぶ はどんなに早く播いても抽苔の心配なく、極早生、早太り品種です。